

人材不足や技術継承などの課題に直面している北海道内の水道事業体もある中で、それら事業体のニーズを踏まえ、北海道等と連携しながら課題の解決に向けて広域的な取組を進めます。また、利用者の信頼の向上や技術研究の推進のため、多様な主体との連携を進めていきます。

効果

・災害対応など水道事業を支える体制が充実します

取組

①道内連携と広域化の推進

- 道内水道事業体の課題を把握し解決するために、技術情報の共有を図り、共同研究会や技術研修会を充実させます。また、災害時の対応に向け緊急時連絡管を用いた訓練等を進めます。
- 他水道事業体のニーズに応じ、北海道や（一財）さっぽろ水道サービス協会などとの連携を図りながら、各水道事業の持続的な運営につながる「発展的広域化」を目指します。

②産学官連携による技術研究

- 大学や民間企業と連携して、より良質な水道水を安定的に供給するための適切な技術や新たな事業手法などの導入に向けた調査・研究を進めます。

指標

指標名	H25 (2013) 年度末実績	H30 (2018) 年度末実績	R6 (2024) 年度末目標
道内他事業体が参加する研修会等の年間開催回数	2回	8回	10回

ビジョン後半5年間の予定事業費(2020~2024年度)

1億円